



# 操作マニュアル③

## チャート機能

Version 1.02



◆本マニュアルは、ダイワ365FX(東京金融取引所が提供する取引所為替証拠金取引「くりっく365」)のトレーディングツールである「ダイワのトレーディングボード365FX」の操作マニュアルです。お客さまに売買を勧めるものではありません。投資にあたっての最終判断はお客さまご自身の判断をお願いします。

◆掲載内容は今後、予告なしに変更されることがあります。

◆大和証券の許可なく転用することを固く禁じます。

## 目次

365	チャート画面の呼び出し	.....	2	365	コンテキストメニュー	.....	25
365	画面構成【チャート画面全体】	.....	3	365	分析ツール追加画面	.....	28
365	画面構成【メインコントロールバー】	.....	4	365	分析ツール管理画面	.....	29
365	画面構成【ツールボックス】	.....	6	365	分析ツール設定画面	.....	30
365	画面構成【チャート領域】	.....	7	365	チャート環境設定画面	.....	34
365	画面構成【ラインスタディ】	.....	8	365	チャートタイプ設定画面	.....	37
365	ラインスタディの表示	.....	10	365	チャート領域(表示例)	.....	39
365	画面構成【時間軸コントロールバー】	.....	11				
365	画面構成【分割表示コントロールバー】	.....	12				
365	画面構成【チャート表示変更ツール】	.....	13				
365	分析ツール(テクニカル指標)の表示	.....	14				
365	発注中の注文および建玉の表示	.....	15				
365	発注画面、注文訂正・取消画面の呼び出し	.....	16				
365	チャート上で発注中の注文の単価訂正	.....	17				
365	チャートの環境設定	.....	18				
365	チャートのタイプ設定	.....	19				
365	テクニカル指標の登録	.....	20				
365	登録テクニカル指標の呼び出し	.....	22				

## チャート画面の呼び出し

① 画面コードを入力します。

② メニューバーから「チャート」を選択します。

③ 画面右上のチャートボタンをクリックします。

④ 個別プライスのチャートボタンをクリックします。

⑤ 為替ボードのチャートボタンをクリックします。

⑥ 登録済みのショートカットキー(\*)を押します。

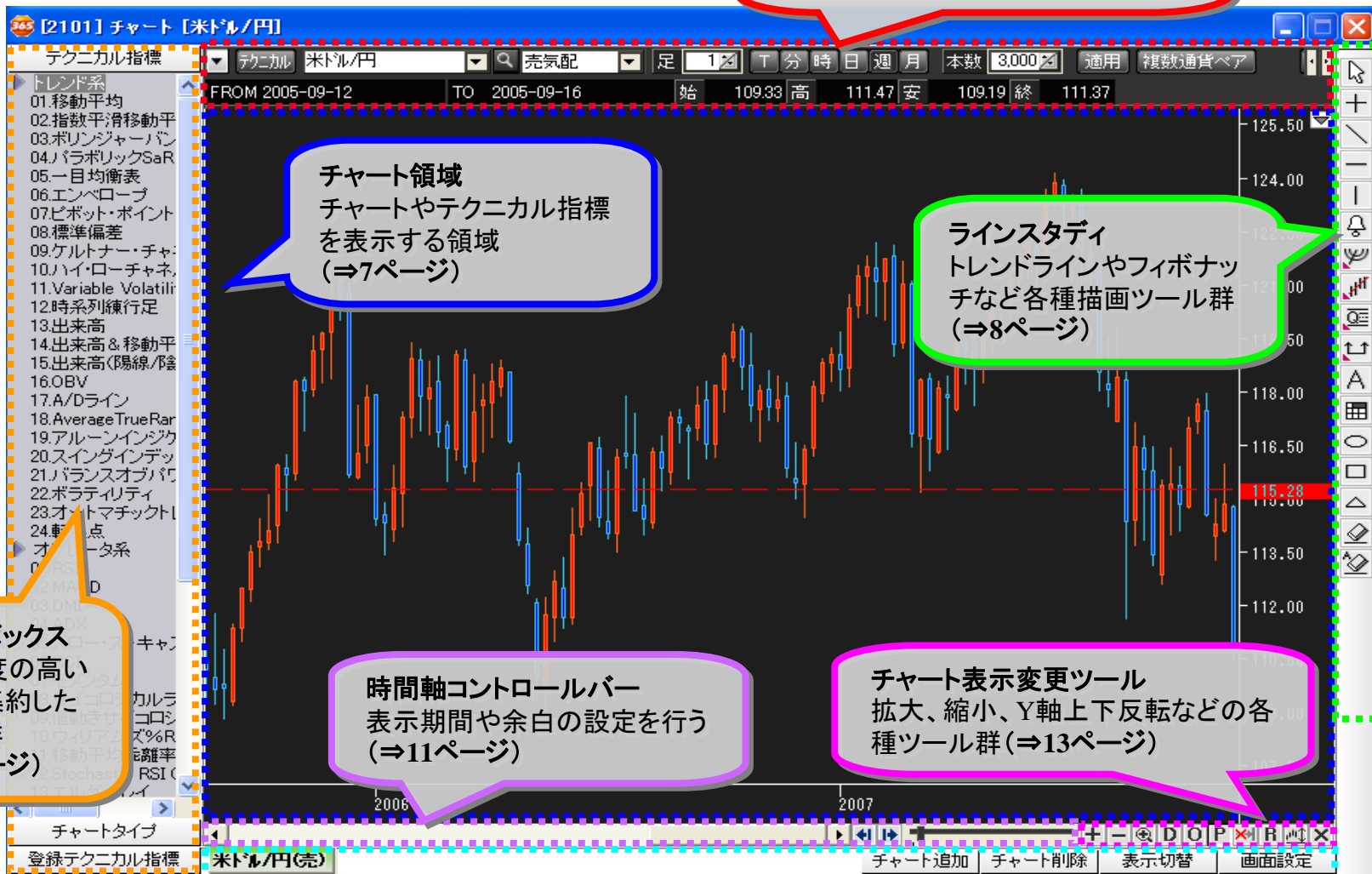
※ ショートカットキーの設定については、マニュアル①「基本機能および情報メニュー編」の17ページをご参照ください。

【インストール直後の画面コード設定】

コード	画面名	コード	画面名	コード	画面名
1101	個別プライス	3113	OCO注文	4102	約定照会(当日)
1201	為替ボード	3114	IFD+OCO注文	4103	建玉一覧
2101	チャート	3115	予約トル注文	4111	建玉サマリー
3102	スリーピング注文	3116	トル逆指値注文	5101	証拠金状況
3111	単一注文	3301	注文訂正・取消	8100	マーケットニュース
3112	IFD注文	4101	注文照会	HELP	ヘルプ画面

## 画面構成【チャート画面全体】

メインコントロールバー  
通貨ペアの指定や足種の設定を行う  
(⇒4,5ページ)



## 画面構成【メインコントロールバー①】

メインコントロールバーで、チャート領域に表示する通貨ペアや足種別、本数を指定できます。



## ツールボックスの非表示状態



## レート画面の表示状態



## ① チャートツールボタン

- ・チャート画面左側のツールボックス(6ページご参照)の表示／非表示を切り替えます。

## ② 通貨ペア選択(通貨ペア・売気配/買気配/約定値)

- ・表示する通貨ペア及び売気配・買気配・約定値を選択します。

## ③ 足種別選択

- ・足の種別をTick、分、時、日、週、月から選択します。
- ・束ねた足の指定も可能です。  
Tick:1~100、分:1~120、時:1~12、日・週・月:1~10

## ④ 本数

- ・表示するチャートの本数を指定します。
- ・100~3,000本までの本数が指定可能です。

## ⑤ 適用ボタン

- ・設定された条件でチャートを表示します。

## ⑥ プライス表示ボタン

- ・ボックス型レート画面を表示します。  
(表示したレート画面はチャート画面上に常に表示されます)



## 画面構成【メインコントロールバー②】



### ① 4本値表示切替ボタン(▼ボタン)

- ・4本値表示領域の表示／非表示を切り替えます。

### ② 4本値表示領域

- ・カーソル上の足の4本値を表示します。

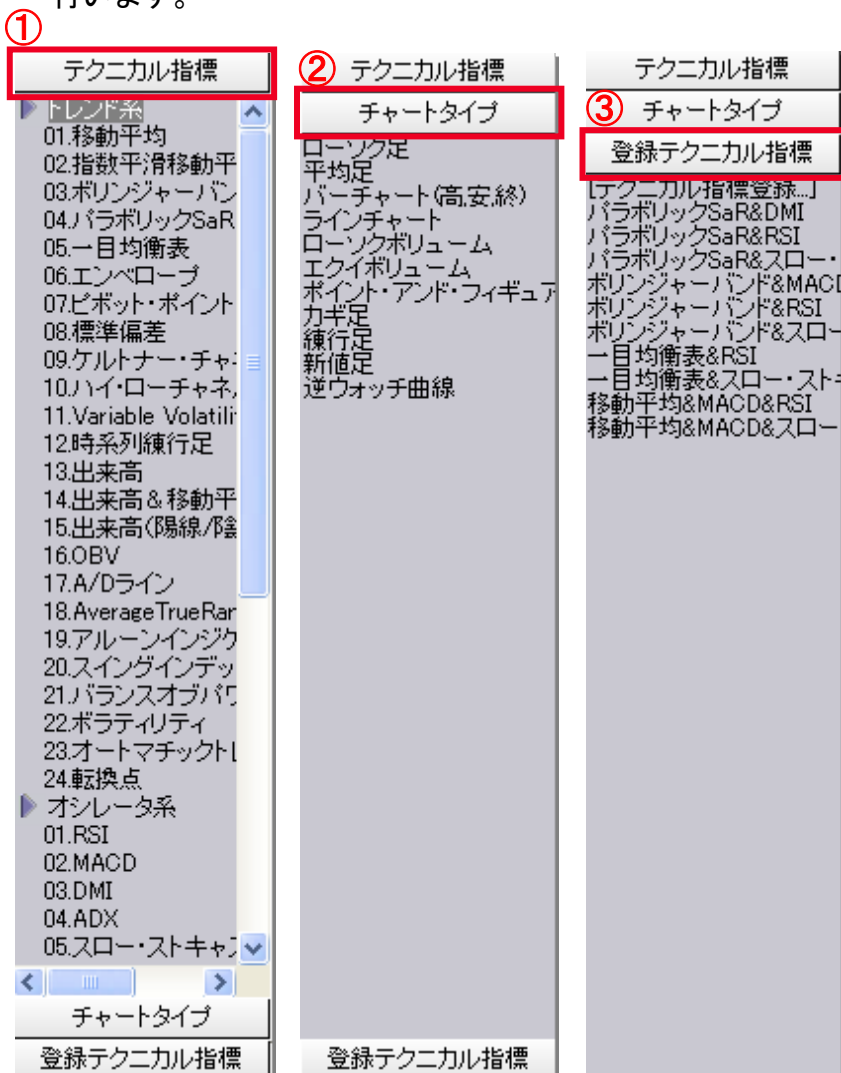
FROM: 足の開始日時  
TO : 足の終了日時  
始 : 始値  
高 : 高値  
安 : 安値  
終 : 終値

### ③ 複数通貨ペアボタン

- ・複数通貨ペア選択画面を表示します。
- ・この画面で通貨ペアを選択することで、チャート上に複数の通貨ペアを表示します。(左図参照)

# 画面構成【ツールボックス】

チャート画面左側のツールボックスでは、テクニカル指標の表示やチャートタイプの切り替え、登録テクニカル指標の呼び出しを行います。



## ① テクニカル指標

- ・テクニカル指標の一覧を表示します。
- ・一覧から選択することでチャート上にテクニカル指標を表示することができます。(14ページ「テクニカル指標の表示」ご参照)

## ② チャートタイプ

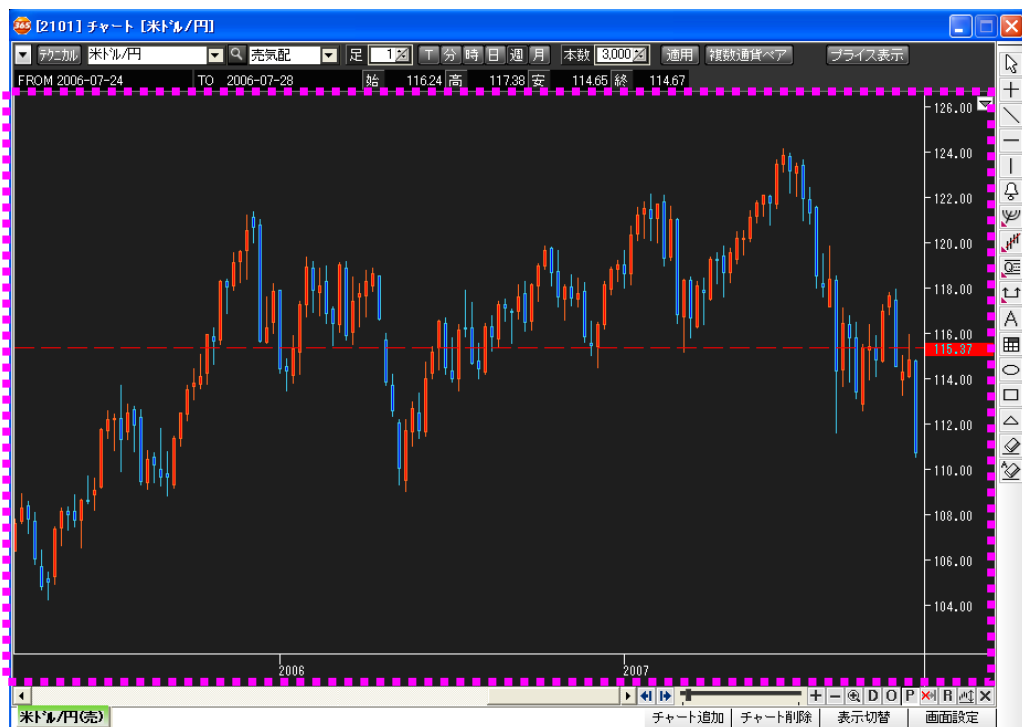
- ・チャートタイプの一覧を表示します。
- ・一覧から選択することで表示しているチャートのチャートタイプを変更することができます。

## ③ 登録テクニカル指標

- ・お客さまが登録したテクニカル指標の一覧を表示します。
- ・一覧から選択することで登録されているテクニカル指標をチャートに表示することができます。(20ページ「登録テクニカル指標呼出」、22ページ「テクニカル指標登録」ご参照)

## 画面構成【チャート領域】

ローソク足やテクニカル指標などチャート情報を表示する領域です。  
(主な設定例は39～40ページ「チャート領域(表示例)」をご参照)



### 【チャート領域でのマウス操作】

#### チャート領域余白でのドラッグ & ドロップ

- ・チャート領域をスクロールし、画面に表示する期間を変更することができます。

#### チャート領域余白でのダブルクリック

- ・チャート環境設定画面を表示します。  
(34～36ページ「チャート環境設定画面」ご参照)

#### チャート足を選択してダブルクリック

- ・チャートタイプ設定画面を表示します。  
(37～38ページ「チャートタイプ設定画面」ご参照)

#### 右クリック

- ・コンテキストメニューを表示します。  
(25～27ページ「コンテキストメニュー」ご参照)

#### テクニカル指標を選択してダブルクリック

- ・分析ツール設定画面を表示します。  
(30～33ページ「分析ツール設定画面」ご参照)






















## 画面構成【ラインスタディ①】

チャート領域に分析ツールや図形の描画を行うツール群で、様々な分析に使用することができます。  
ラインスタディの表示方法は、10ページをご覧ください。

次  
項  
ご  
参  
照

-  カーソル: マウスポインタをカーソル表示にします。また、他のツールを使用時に使用の解除を行います。
-  クロスライン: マウスポインタ上のチャート領域の日時、価格をX軸・Y軸に表示します。
-  テレンドライン: チャート領域に始点、終点を設定することで、チャートにテレンドラインを描きます。
-  ホリゾンタルライン: チャート領域に水平線を描きます。
-  パーティカルライン: チャート領域に垂直線を描きます。
-  アラーム線: チャート領域に抵抗線、支持線を引き、価格が線を越えたときにアラーム音とポップアップでお知らせします。
-  フィボナッチ・ギャン分析ツール: チャート領域に始点、終点を設定することで、フィボナッチ、GANを描きます。
-  回帰分析ツール: チャート領域に始点、終点を設定することで、回帰線を描きます。
-  その他分析ツール: 選択した期間の高値、安値の間を等分に分ける四等分線や加速抵抗線などを描きます。
-  期間分析ツール: チャート領域に始点、終点を設定することで、選択期間内の価格変化線を描きます。
-  テキスト: チャート領域にテキストを描きます。
-  イメージ: イメージ選択画面を表示します。(チャート領域に数字や矢印などのイメージを貼り付ける)⇒
-  サークル: チャート領域に円を描きます。
-  ボックス: チャート領域に四角形を描きます。
-  トライアングル: チャート領域に三角形を描きます。
-  削除: チャートに描かれたツールを選択して削除します。
-  一括削除: チャートに描かれたツールを一括削除します。



イメージ選択画面

## 画面構成【ラインスタディ②】

## アラーム線



(左から順に)

- ・アラーム線(レジスタンスライン)
- ・アラーム線(サポートライン)

## 回帰線分析ツール



(左から順に)

- ・回帰線
- ・Raff回帰線
- ・標準偏差の回帰チャンネル
- ・標準誤差の回帰チャンネル

## 期間分析ツール



(左から順に)

- ・期間収益率
- ・期間分析

## フィボナッチ・ギャン分析ツール



(左から順に)

- ・フィボナッチ・アーク
- ・フィボナッチ・ファン
- ・フィボナッチ・リトレイメント
- ・フィボナッチ・タイムゾーン
- ・ギャン・ライン
- ・ギャン・ファン
- ・ギャン・グリッド

## その他分析ツール



(左から順に)

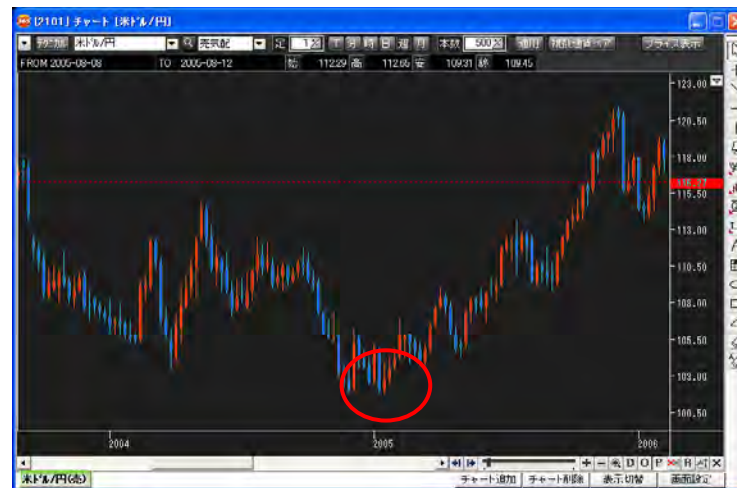
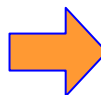
- ・四分割線
- ・三分割線
- ・スピードライン
- ・アンドリュース・ピッチホーク
- ・サイクルライン

## ラインスタディの表示

任意にツールを選択し、分析に使用する図形を描画します。



ツールを  
選択



始点を指定してドラッグ  
(左ボタンをクリックしたま  
まマウスを動かします)



# 画面構成【時間軸コントロールバー】

時間軸コントロールバーを操作することで、チャート領域に表示する期間を変更することができます。



## ① 表示期間変更スクロール

- ・スクロールの移動に応じて表示する期間を変更することができます。

## ② 余白設定ボタン

- ・チャートの右側に26本分余白を設定することができます。
- ・クリックするごとに増減します。

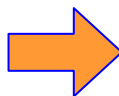
## ③ 時間軸変更スライダー

- ・ドラッグすることにより表示している時間軸を変更することができます。
- ・左に寄せるほど、足が細くなり長い期間を表示できます。(下図参照)

時間軸スライダーが一番左(最も長い期間を表示)



時間軸スライダーを右に移動



# 画面構成【分割表示コントロールバー】

ダイワのトレーディングボード365FXのチャートは1画面に複数のチャートを分割表示することができます。  
分割表示コントロールバーで、分割表示する際の表示レイアウトを設定します。

①

②

③

④

⑤

米ドル/円(売) ユーロ/円(売)

チャート追加

チャート削除

表示切替

画面設定

1画面表示(銘柄タブで表示切り替え)



## ① 通貨ペアタブ

- ・チャート画面に表示している通貨ペア・(売)／(買)を表示します。
- ・選択中のチャートのタブは強調表示します。
- ・通貨ペアタブをドラッグ & ドロップすることでタブの位置を変更することができます。

## ② チャート追加ボタン

- ・通貨ペアのタブを追加します。(空のタブが追加)

## ③ チャート削除ボタン

- ・選択しているタブのチャートを閉じます。
- ・1つのチャートのみを表示しているときは削除できません。

4分割表示



## ④ 表示切替ボタン

- ・複数のチャートを表示しているチャート画面を1画面表示に切り替えます。

## ⑤ 画面設定ボタン

- ・2分割～9分割の表示レイアウト選択画面を表示します。

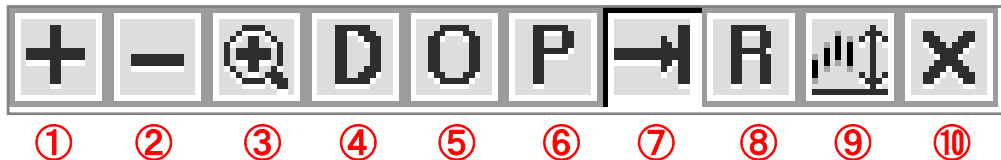
【表示レイアウト選択画面】





## 画面構成【チャート表示変更ツール】

Y軸表示やローソク足の太さ、表示期間などを設定するツール群です。

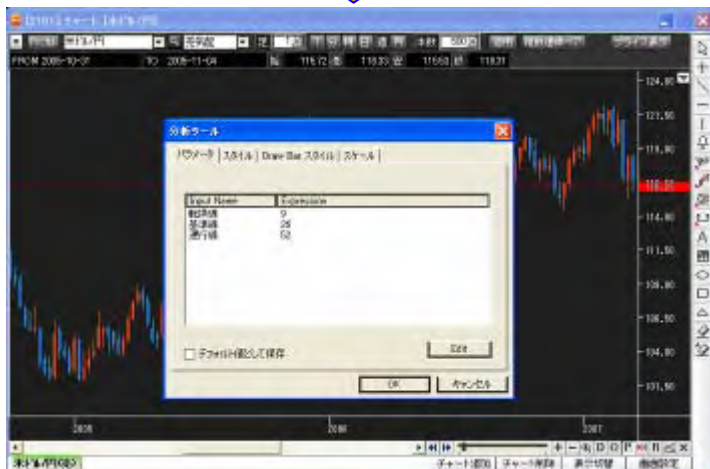
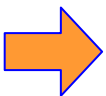
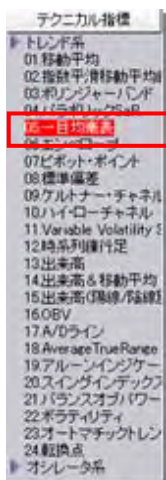
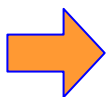
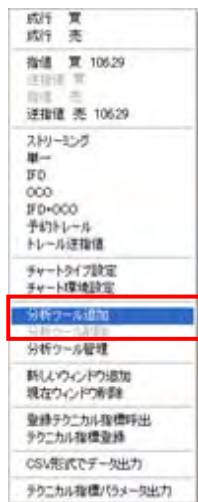


- ① チャートの表示領域を拡大します。
- ② チャートの表示領域を縮小します。
- ③ 矩形(長方形)で領域を選択し、その領域を拡大表示します。
- ④ チャート上の数値の表示／非表示を切り替えます。
- ⑤ 注文ラインの表示／非表示を切り替えます。
- ⑥ 建玉ラインの表示／非表示を切り替えます。
- ⑦ レート受信時に最後のロウソクに移動します。
- ⑧ Y軸を上下反転させた表示に変更します。
- ⑨ Y軸の範囲設定を固定・固定解除します。
- ⑩ メインコントロールバー、ツールボックス、ラインスタディの表示／非表示を切り替えます。

# 分析ツール(テクニカル指標)の表示

以下の2つの方法でチャート領域にテクニカル指標を表示します。

- ①チャート上で右クリック→コンテキストメニュー「分析ツール追加」で、分析ツール画面を表示し、対象のテクニカル指標を選択
- ②チャート画面左のツールボックスの「テクニカル指標」で対象のテクニカル指標を選択

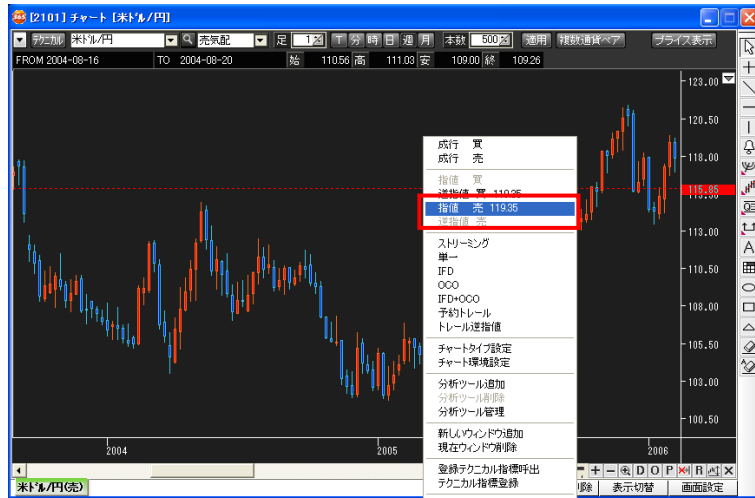


## 発注中の注文および建玉の表示

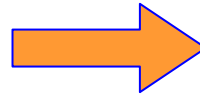
チャート上で右クリックし、コンテキストメニューから「チャート環境設定」を選択し、「注文ライン表示」オプション、「建玉ライン表示」オプションを「ON」にすると、チャート領域に発注中の注文（リープオーダー）および建玉が表示されます。これらの情報は、約定通知や注文訂正通知などを受けて自動で更新されます。



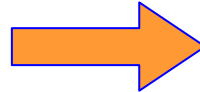
# 発注画面、注文訂正・取消画面の呼び出し



チャート上で右  
クリックし、コンテ  
キストメニューから  
注文を選択



発注されている  
注文の注文ラ  
ベルをダブルク  
リック



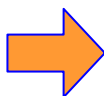


# チャート上で発注中の注文(リーブオーダー)の単価訂正

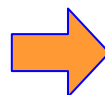
注文ラインをドラッグ & ドロップすることで、リーブオーダーの注文単価を変更することができます。



注文ラインを  
ドラッグ



注文ラインをドロップし、「訂正実行」をクリック

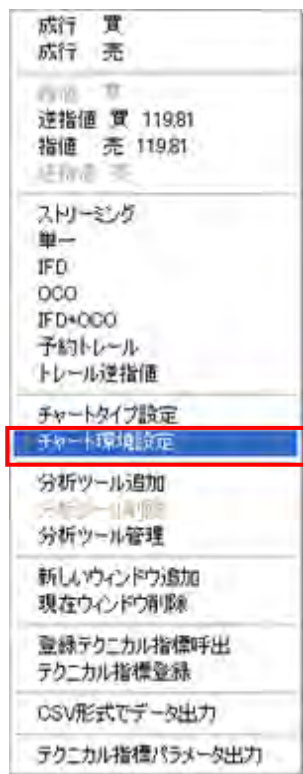




# チャートの環境設定

チャート画面ごとの共通設定で、チャート環境設定画面で行います。(詳細は34～36ページ「チャート環境設定画面」ご参照)  
チャート環境設定画面を開くには、以下の2つの方法があります。

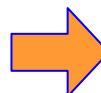
- ①チャート上で右クリックし、コンテキストメニューの「チャート環境設定」を選択します。
- ②チャート領域の余白をダブルクリックします。



メニュー  
を選択



設定を変更



チャート上で右クリックすると表示  
されるコンテキストメニュー

# チャートのタイプ設定

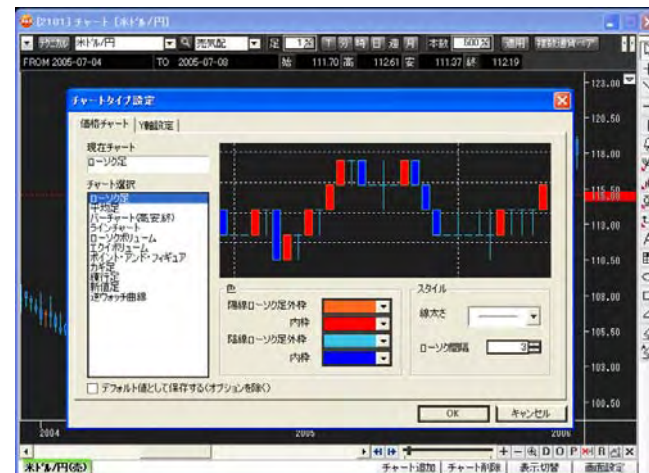
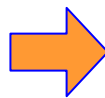
チャート毎の設定で、チャートタイプ設定画面で行います。(詳細は37～38ページ「チャートタイプ設定画面」ご参照)

チャートタイプ設定画面を開くには、以下の2つの方法があります。

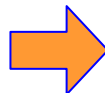
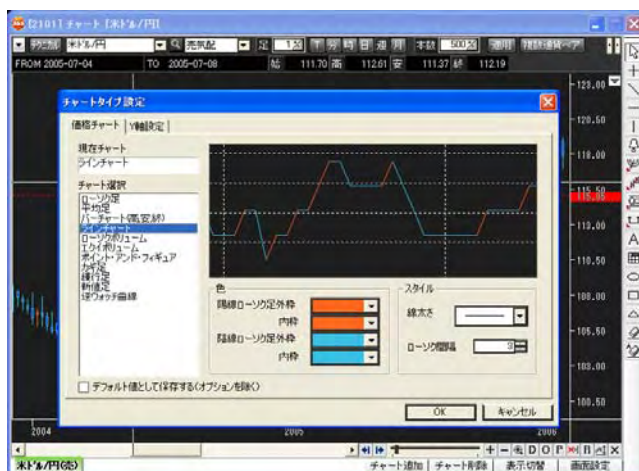
- ①チャート上で右クリックし、コンテキストメニューの「チャートタイプ設定」を選択します。
- ②チャートデータを選択してダブルクリックします。



足データを  
ダブルクリック

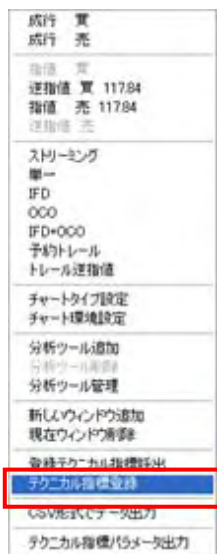


チャートタイプ  
を選択

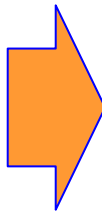


# テクニカル指標の登録

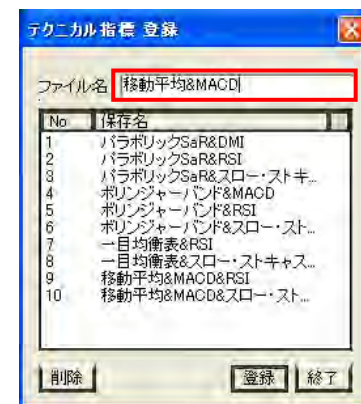
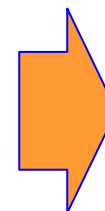
チャート領域に表示しているテクニカル指標を登録します。複数のテクニカル指標を組み合わせて保存することができます。  
(テクニカル指標登録画面の詳細は次頁ご参照)



メニュー  
を選択

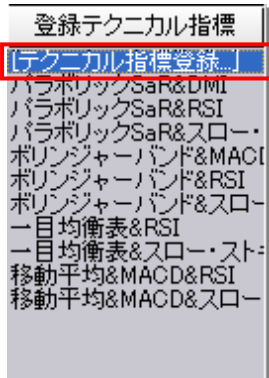


保存を  
実行



登録テクニカル指標

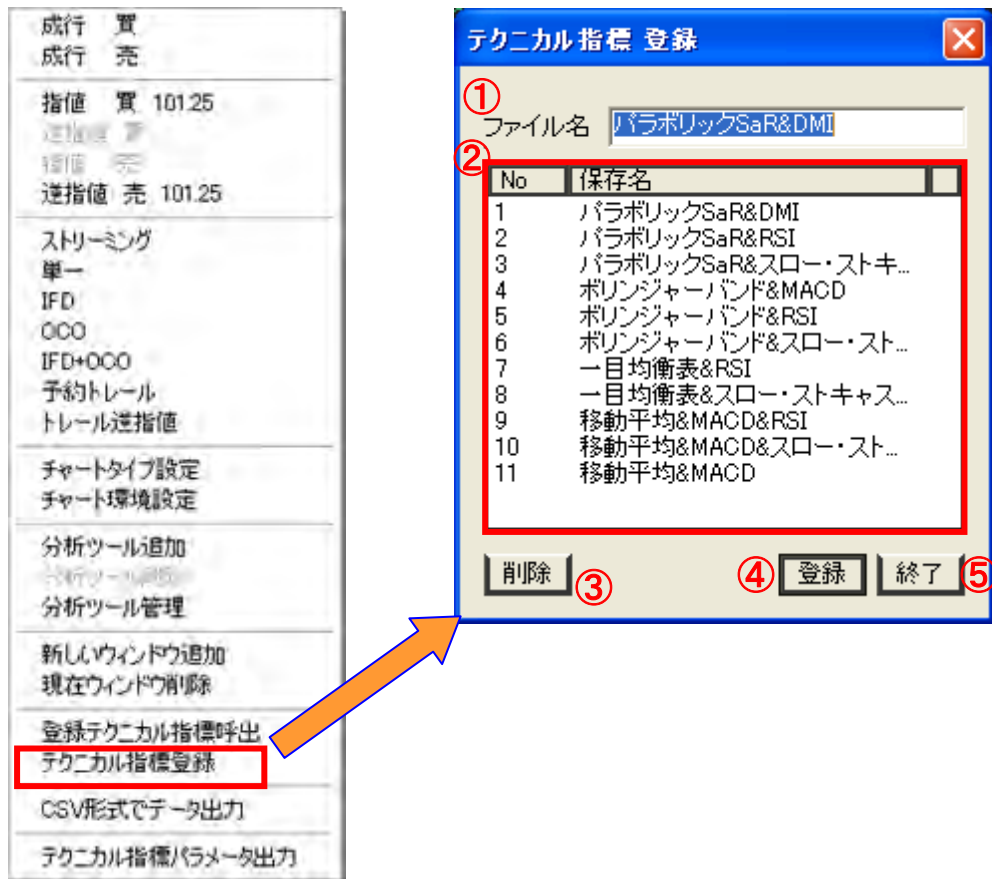
[テクニカル指標登録...]  
パラボリックSaR&DMI  
パラボリックSaR&RSI  
パラボリックSaR&スロー・  
ボリンジャーバンド&MACD  
ボリンジャーバンド&RSI  
ボリンジャーバンド&スロー  
一目均衡表&RSI  
一目均衡表&スロー・スト  
移動平均&MACD&RSI  
移動平均&MACD&スロー  
**移動平均&MACD**





# テクニカル指標 登録画面

チャート領域に表示しているテクニカル指標を名前を付けて保存します。



チャート上で右クリックすると表示  
されるコンテキストメニュー

## ① ファイル名

・保存するテクニカル指標名を表示します。

## ② ファイルリスト

・保存されているテクニカル指標の一覧を表示します。

## ③ 削除ボタン

・ファイルリストで選択したテクニカル指標を削除します。

## ④ 登録ボタン

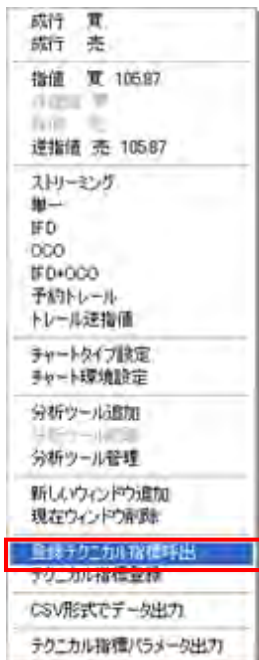
・ファイル名に入力された名前で作成します。

## ⑤ 終了ボタン

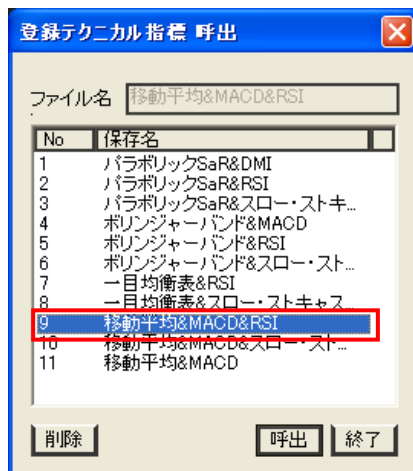
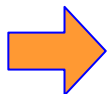
・テクニカル指標登録画面を閉じます。

# 登録テクニカル指標の呼び出し

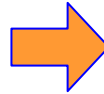
保存している登録テクニカル指標をチャート領域に表示します。  
(登録テクニカル指標呼び出し画面の詳細は次項ご参照)



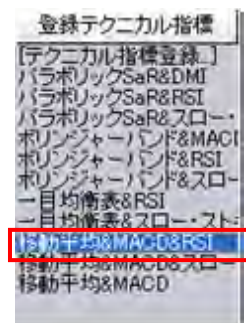
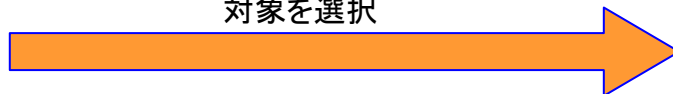
メニュー  
を選択



対象を  
選択



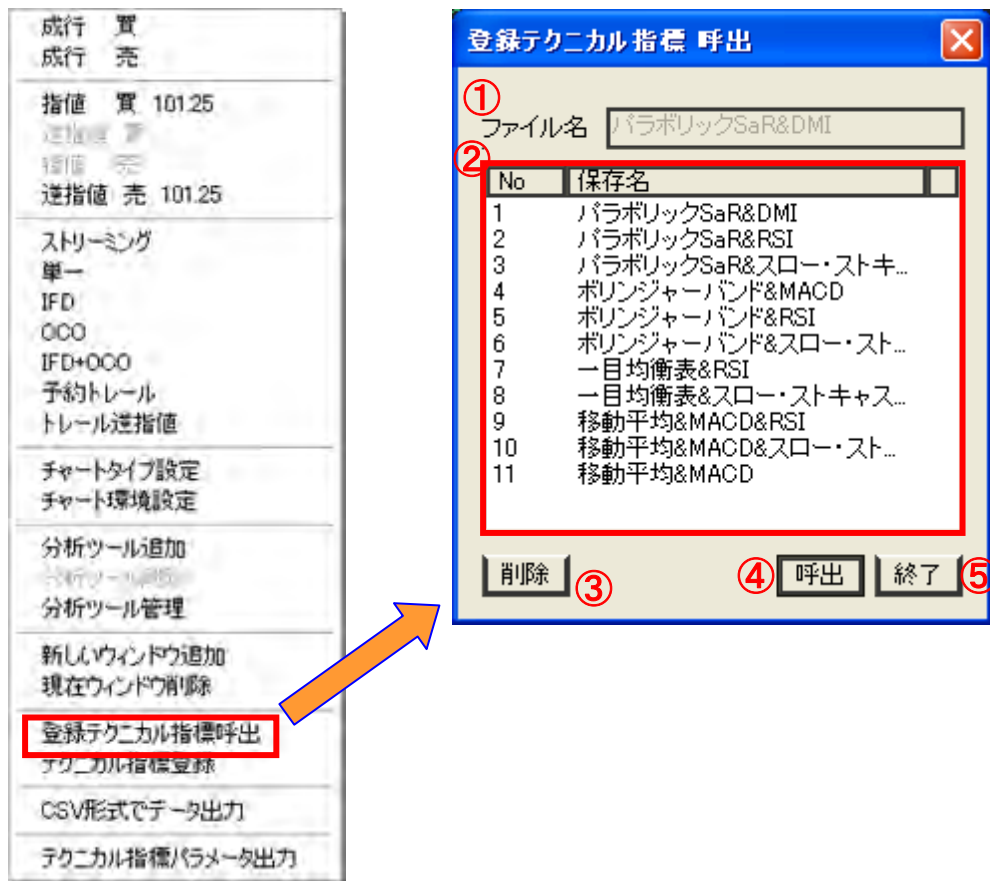
対象を選択





# 登録テクニカル指標 呼出画面

ファイル名を指定することで、チャート領域に登録済みのテクニカル指標を表示します。



## ① ファイル名

・選択したファイル名を表示します。

## ② ファイルリスト

・登録されているテクニカル指標の一覧を表示します。

## ③ 削除ボタン

・ファイルリストで選択したテクニカル指標を削除します。

## ④ 呼出ボタン

・ファイルリストで選択したテクニカル指標を表示します。

## ⑤ 終了ボタン

・登録テクニカル指標呼出画面を閉じます。

チャート上で右クリックすると表示  
されるコンテキストメニュー

## チャート補足資料

# コンテキストメニュー①

チャート領域で右クリックしたときに表示されるメニューです。このメニューから様々な操作が可能です。

成行 買
成行 売
指値 買 101.25
逆指値 買
指値 売
逆指値 売 101.25
ストリーミング 単一 IFD OCO IFD+OCO 予約トレール トレール逆指値
チャートタイプ設定 チャート環境設定
分析ツール追加 分析ツール削除 分析ツール管理
新しいウィンドウ追加 現在ウィンドウ削除
登録テクニカル指標呼出 テクニカル指標登録
CSV形式でデータ出力
テクニカル指標パラメータ出力

## 成行注文 買 ・ 成行注文 売

・表示している通貨ペアの成行注文画面を開きます。

## 指値 買

- ・表示している通貨ペアの単一注文画面を開きます。
- ・右クリックした際、Y座標位置が現値よりも下の場合にご利用可能です。
- ・メニューにはY座標のレートを表示し、単一画面を表示する際にそのレートを単一注文画面に渡します(注文画面にて単価変更可能)。

## 逆指値 買

- ・表示している通貨ペアの単一注文画面を開きます。
- ・右クリックした際、Y座標位置が現値よりも上の場合にご利用可能です。
- ・メニューにはY座標のレートを表示し、単一注文画面を表示する際にそのレートを単一注文画面に渡します(注文画面にて単価変更可能)。

## 指値 売

- ・表示している通貨ペアの単一注文画面を開きます。
- ・右クリックした際、Y座標位置が現値よりも上の場合にご利用可能です。
- ・メニューにはY座標のレートを表示し、単一画面を表示する際にそのレートを単一注文画面に渡します(注文画面にて単価変更可能)。

## 逆指値 売

- ・表示している通貨ペアの単一注文画面を開きます。
- ・右クリックした際、Y座標位置が現値よりも下の場合にご利用可能です。
- ・メニューにはY座標のレートを表示し、単一画面を表示する際にそのレートを単一注文画面に渡します(注文画面にて単価変更可能)。

## コンテキストメニュー②

成行 買
成行 売
指値 買 101.25
逆指値 買
指値 売
逆指値 売 101.25
ストリーミング
単一
IFD
OCO
IFD+OCO
予約トレール
トレール逆指値
チャートタイプ設定
チャート環境設定
分析ツール追加
分析ツール削除
分析ツール管理
新しいウィンドウ追加
現在ウィンドウ削除
登録テクニカル指標呼出
テクニカル指標登録
CSV形式でデータ出力
テクニカル指標パラメータ出力

## ストリーミング

・表示している通貨ペアのストリーミング注文画面を開きます。

## 単一

・表示している通貨ペアの単一注文画面を開きます。

## IFD

・表示している通貨ペアのIFD注文画面を開きます。

## OCO

・表示している通貨ペアのOCO注文画面を開きます。

## IFD+OCO

・表示している通貨ペアのIFD+OCO注文画面を開きます。

## 予約トレール

・表示している通貨ペアの予約トレール注文画面を開きます。

## トレール逆指値

・表示している通貨ペアのトレール逆指値注文画面を開きます。

## チャートタイプ設定

・チャートタイプ設定画面を開きます。(35～36ページ「チャートタイプ設定画面」ご参照)

## チャート環境設定

・チャート環境設定画面を開きます。(32～34ページ「チャート環境設定画面」ご参照)

## コンテキストメニュー③

成行 買
成行 売
指値 買 101.25
逆指値 買
指値 売
逆指値 売 101.25
ストリーミング
単一
IFD
OCO
IFD+OCO
予約トレール
トレール逆指値
チャートタイプ設定
チャート環境設定
分析ツール追加
分析ツール削除
分析ツール管理
新しいウィンドウ追加
現在ウィンドウ削除
登録テクニカル指標呼出
テクニカル指標登録
CSV形式でデータ出力
テクニカル指標パラメータ出力

## 分析ツール追加

・分析ツール追加画面を表示します。(26ページ「分析ツール追加画面」ご参照)

## 分析ツール削除

・選択したテクニカル指標を削除します。

## 分析ツール管理

・分析ツール管理画面を表示します。(27ページ「分析ツール管理画面」ご参照)

## 新しいウィンドウ追加

・空白のウィンドウ領域を追加します。

## 現在ウィンドウ削除

・マウスカーソル上のウィンドウ領域を削除します。

## 登録テクニカル指標呼出

・保存しているチャートのテンプレートを表示します。  
(38ページ「登録テクニカル指標 呼出」ご参照)

## テクニカル指標登録

・表示しているチャート／テクニカル指標をテンプレートとして保存します。  
(37ページ「テクニカル指標登録」ご参照)

## CSV形式でデータ出力

・表示しているチャートの4本値とテクニカル指標の数値をCSV形式でファイルに出力します。

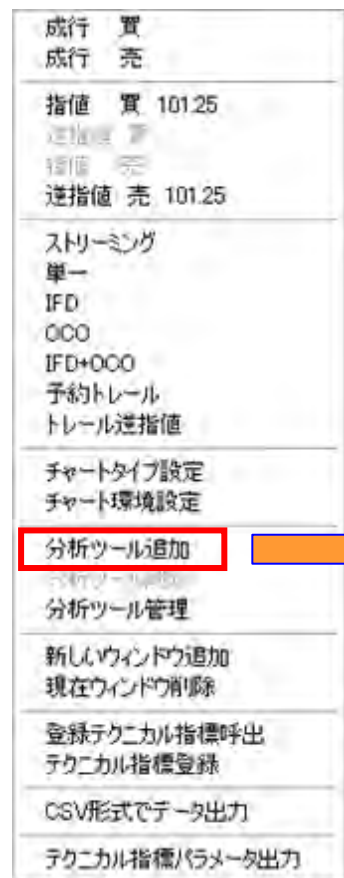
## テクニカル指標パラメータ出力

・設定しているテクニカル指標のパラメータをCSV形式でファイルに出力します。



## 分析ツール追加画面

- ・コンテキストメニューの「分析ツール追加」をクリックして表示します。
- ・この画面で指定されたテクニカル指標や売買信号をチャート領域に表示することができます。



チャート上で右クリックすると表示されるコンテキストメニュー



### ① 分析ツールリスト

- ・テクニカル指標や売買信号の一覧を表示します。
- ・ダブルクリックするとチャート領域に分析ツールを表示します。

### ② OKボタン

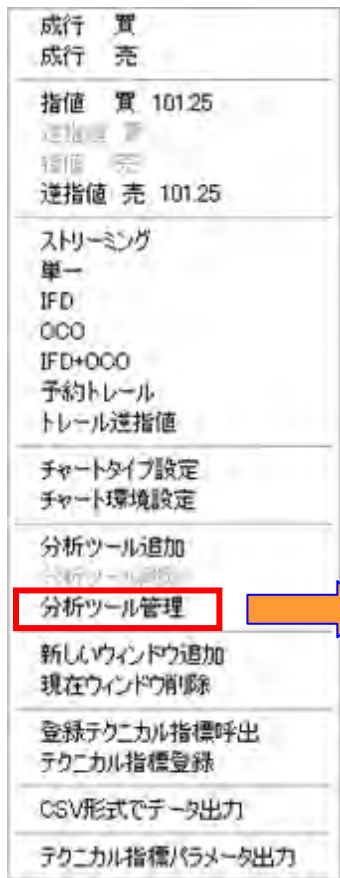
- ・分析ツールリストで一行が選択されている状態でOKボタンをクリックするとチャート領域に分析ツールを表示します。

### ③ キャンセルボタン

- ・分析ツール追加画面を閉じます。

# 分析ツール管理画面

- ・コンテキストメニューの「分析ツール管理」から表示します。
- ・チャートに表示しているテクニカル指標や売買シグナルをリストに表示します。
- ・この画面で表示しているテクニカル指標の確認及びチャート領域からの削除を行います。



チャート上で右クリックすると表示されるコンテキストメニュー



## ① 分析ツールリスト

- ・チャート領域に表示している分析ツールの一覧を表示します。

## ② 削除ボタン

- ・リストで選択した分析ツールをチャートから削除します。

## ③ OKボタン

- ・分析ツール管理画面を閉じます。

## ④ 全体削除ボタン

- ・全ての分析ツールをチャートから削除します。

## 分析ツール設定画面①

- ・チャート領域のテクニカル指標や売買信号のダブルクリック、もしくはツールボックスの「テクニカル指標」のリスト選択から表示します。
- ・テクニカル指標のパラメータや基準線の表示スタイルを設定します。

「パラメータ」タブの選択状態

Input Name	Expression
プライス	Close
期間	10

☐ デフォルト値として保存

Edit

OK キャンセル

### ① Input Name

- ・各パラメータの名称を表示します。

### ② Expression

- ・パラメータの設定値を表示します。

### ③ Editボタン

- ・選択したパラメータの設定値編集画面を表示します。

### ④「デフォルト値として保存」チェック

- ・OKボタンを押下した際に、設定内容を当該テクニカル指標のデフォルト設定とします。

### ⑤ OKボタン

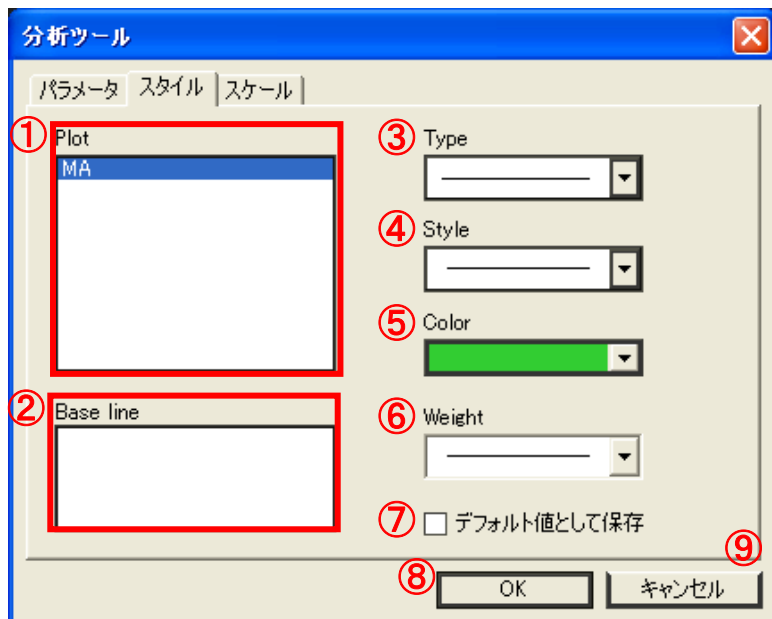
- ・指定した条件でテクニカル指標をチャートに表示します。

### ⑥ キャンセルボタン

- ・設定を反映せずに分析ツール画面を閉じます。

## 分析ツール設定画面②

「スタイル」タブの選択状態



## ① Plot

・テクニカル指標のパラメータ名を表示します。

## ② Baseline

・テクニカル指標の基準線を表示します。  
(基準線を設定している場合のみ、基準線名を表示します)

## ③ Type

・「Plot」もしくは「Baseline」の線のタイプを選択します。

## ④ Style

・「Plot」もしくは「Baseline」の線のスタイルを選択します。

## ⑤ Color

・「Plot」もしくは「Baseline」の色を選択します。

## ⑥ Weight

・「Plot」もしくは「Baseline」の線の太さを選択します。

## ⑦ 「デフォルト値として保存」チェック

・OKボタンをクリックした際に、設定内容を当該テクニカル指標のデフォルト設定(初期設定)とします。

## ⑧ OKボタン

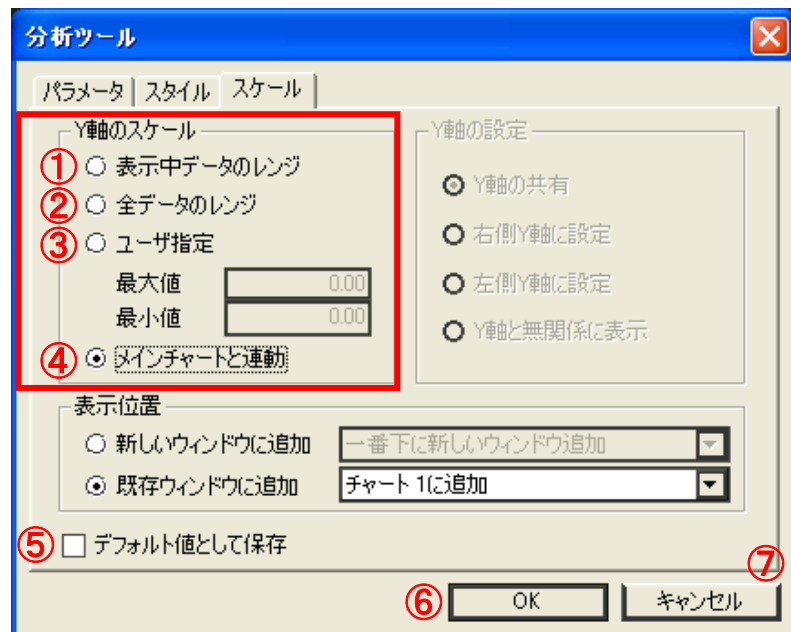
・指定した条件でテクニカル指標をチャートに表示します。

## ⑨ キャンセルボタン

・設定を反映せずに分析ツール画面を閉じます。

## 分析ツール設定画面③

「スケール」タブの選択状態 その1



## Y軸のスケール

チャート領域のY軸(縦軸)のスケール(縮尺)の設定を行います。

## ① 表示中データのレンジ

・表示している期間の最大値／最小値を基準にY軸(縦軸)を設定します。

## ② 全データのレンジ

・クライアントアプリに読み込んでいる期間の最大値／最小値を基準にY軸(縦軸)を設定します。

## ③ ユーザ指定

・任意にY軸(縦軸)の最大値／最小値を設定します。

## ④ メインチャートと連動

・メインチャートのY軸スケールに合わせます。

(この設定の場合、下記「位置指定」の設定に関わらずメインチャートに重ね合わせ表示されます)

## ⑤ 「デフォルト値として保存」チェック

・OKボタンをクリックした際に、設定内容を当該テクニカル指標のデフォルト設定(初期設定)とします。

## ⑥ OKボタン

・指定した条件でテクニカル指標をチャートに表示します。

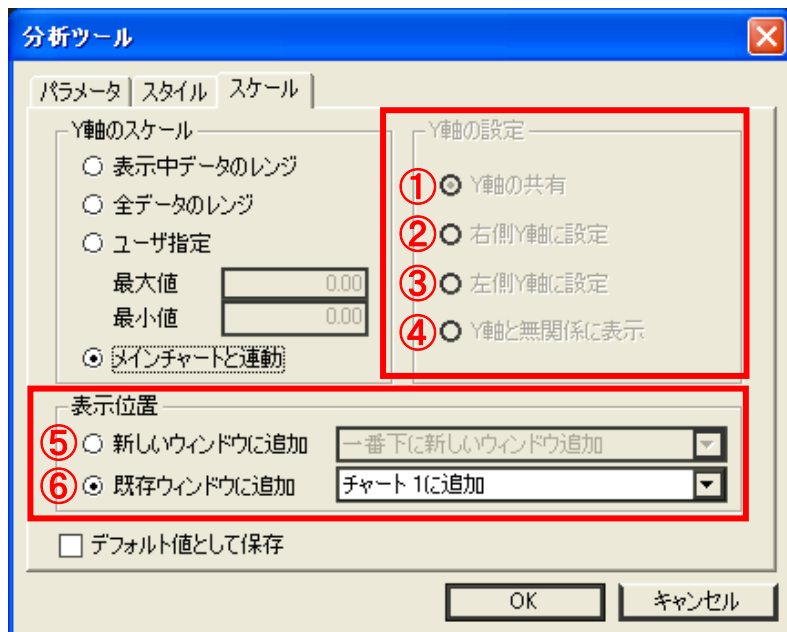
## ⑦ キャンセルボタン

・設定を反映せずに分析ツール画面を閉じます。



## 分析ツール設定画面④

「スケール」タブの選択状態 その2



## Y軸の設定

チャート領域のY軸（縦軸）の表示に関する設定を行います。

## ① Y軸の共有

・テクニカル指標を現在表示しているチャートとY軸を共有して表示します。

## ② 右側Y軸に設定

・右側をY軸（縦軸）に設定します。

## ③ 左側Y軸に設定

・左側をY軸（縦軸）に設定します。

## ④ Y軸と無関係に表示

・Y軸（縦軸）とは無関係にテクニカル指標を表示します。

## 表示位置

テクニカル指標を表示する位置を設定します。

## ⑤ 新しいウィンドウに追加

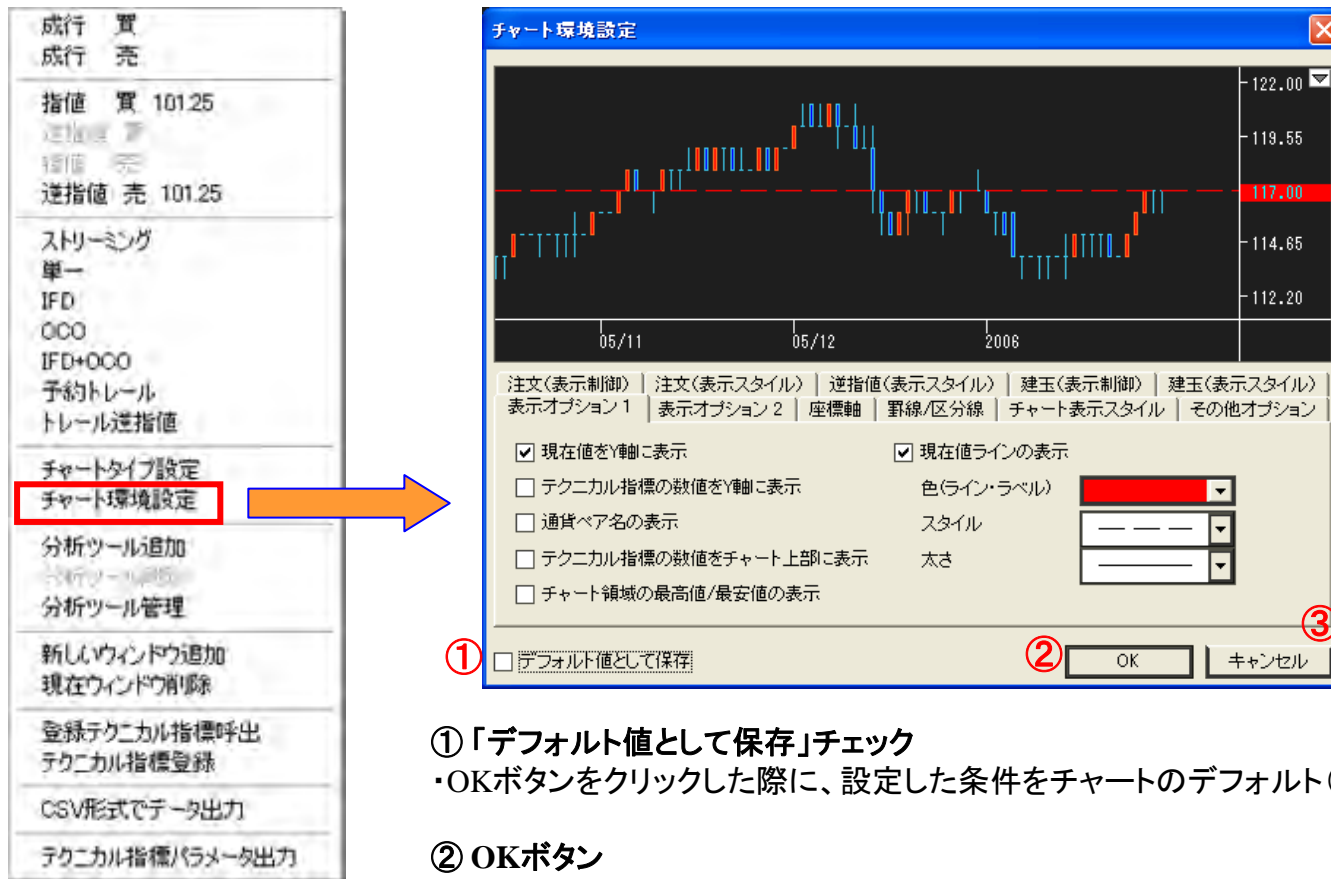
・コンボボックスで選択した場所に、チャート領域を追加して表示します。

## ⑥ 既存ウィンドウに追加

・コンボボックスで選択した既存のチャート領域に表示します。

# チャート環境設定画面①

チャート画面共通のチャート表示領域の設定を行う画面です。



## ①「デフォルト値として保存」チェック

・OKボタンをクリックした際に、設定した条件をチャートのデフォルト(初期状態)の設定とします。

## ② OKボタン

・指定した条件でチャートを表示します。

## ③ キャンセルボタン

・設定を反映せずにチャート環境設定画面を閉じます。

チャート上で右クリックすると表示されるコンテキストメニュー

## チャート環境設定画面②

① 「表示オプション1」タブ

注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)  
表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション

☒ 現在値をY軸に表示 ☒ 現在値ラインの表示  
☐ テクニカル指標の数値をY軸に表示 色(ライン・ラベル) 色  
☐ 通貨ペア名の表示 スタイル ---  
☐ テクニカル指標の数値をチャート上部に表示 太さ ---  
☐ チャート領域の最高値/最低値の表示

☐ デフォルト値として保存 OK キャンセル

② 「座標軸」タブ

注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)  
表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション

☐ レート受信時に最後のローソクに移動  
☐ クリック時に数値照会ウィンドウを表示  
 チャート上下の余白 7 (%)  
 チャート右側の余白 8 (足数)

☐ デフォルト値として保存 OK キャンセル

③ 「罫線/区分線」タブ

注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)  
表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション

☐ Y軸(左)の表示 ☐ X軸・Y軸目盛の太字表示  
☒ Y軸(右)の表示 Y軸目盛の余白 9 (文字数)  
☒ X軸(時間)の表示  
☐ Y軸目盛の対数表示

☐ デフォルト値として保存 OK キャンセル

④ 「チャート表示スタイル」タブ

注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)  
表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション

☐ 罫線の表示 ☒ 内部区切り線の表示  
☐ 縦罫線の表示 ☐ 年区分線の表示(月足/週足/日足)  
 罫線の色 色  
 罫線のスタイル ---  
 罫線の太さ ---  
 区分線の色 色  
 区分線のスタイル ---  
 区分線の太さ ---

☐ デフォルト値として保存 OK キャンセル

### ①「表示オプション1」「表示オプション2」タブ

・チャート領域の表示や数値照会ウィンドウの表示を設定します。

### ②「座標軸」タブ

・座標軸・目盛を設定します。

### ③「罫線/区分線」タブ

・罫線・年の区切り線の表示／非表示、および表示スタイルを設定します。

### ④「チャート表示スタイル」タブ

・背景色や線色、背景イメージを設定します。

### ⑤「その他オプション」タブ

・上記以外の設定を行います。

注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)  
表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション

色  
背景色 色  
線色 色  
文字色 色  
フォント 設定

背景イメージ  
表示 1. 中央に表示 [ None ]

☐ デフォルト値として保存 OK キャンセル

④

注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)  
表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション

☐ トレンドラインの連続使用  
☐ 複数通貨ペアチャートに現在値ラベル・ラインを表示  
☐ 複数通貨ペアチャートに注文、建玉を表示  
 注文、建玉ラベルの初期配置 縦横均等配置

☐ デフォルト値として保存 OK キャンセル

⑤

## チャート環境設定画面③

表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション  
注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)

⑥

☐ 注文ラインの表示  
☒ 注文ラベルの表示

表示する注文状態  
☒ 有効  
☐ 待機中

ラベル表示項目  
☐ 注文受付番号 ☐ 注文区分 ☐ 注文手法  
☐ 執行条件 ☐ 注文数量 ☐ 売買  
☐ 価格/逆指値(価格/トリール幅) ☐ 注文状況 ☐ 注文期限

☐ デフォルト値として保存

OK キャンセル

## ⑥「注文(表示制御)」タブ

・注文ライン、注文ラベルの表示／非表示や表示項目を設定します。

## ⑦「注文(表示スタイル)」タブ

・注文ライン、注文ラベルの色調やフォントを設定します。

## ⑧「逆指値(表示スタイル)」タブ

・逆指値注文のラインの色調やフォントを設定します。

## ⑨「建玉(表示制御)」タブ

・建玉ライン、建玉ラベルの表示／非表示や表示項目を設定します。

## ⑩「建玉(表示スタイル)」タブ

・建玉ライン、建玉ラベルの色調やフォントを設定します。

表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション  
注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)

⑦

売注文  
線色: [青] ラベル背景色: [青]  
スタイル: [点線] 輪郭色: [青]  
太さ: [1] 文字色: [黒] フォント: [設定]

買注文  
線色: [赤] ラベル背景色: [赤]  
スタイル: [点線] 輪郭色: [赤]  
太さ: [1] 文字色: [黒] フォント: [設定]

☐ デフォルト値として保存

OK キャンセル

表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション  
注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)

⑧

売注文  
線色: [赤] ラベル背景色: [赤]  
スタイル: [点線] 輪郭色: [赤]  
太さ: [1] 文字色: [黒] フォント: [設定]

買注文  
線色: [赤] ラベル背景色: [赤]  
スタイル: [点線] 輪郭色: [赤]  
太さ: [1] 文字色: [黒] フォント: [設定]

☐ デフォルト値として保存

OK キャンセル

表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション  
注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)

⑨

☐ 建玉ラインの表示  
☐ ドラッグ操作で単一画面を呼び出す  
☒ 建玉ラベルの表示  
ダブルクリック操作で [単一] を呼び出す

ラベル表示項目  
☐ 約定成立番号 ☒ 売買  
☒ 建玉数量 ☒ 約定単価  
☐ スワップ損益 ☐ 約定日時

☐ デフォルト値として保存

OK キャンセル

表示オプション1 | 表示オプション2 | 座標軸 | 罫線/区分線 | チャート表示スタイル | その他オプション  
注文(表示制御) | 注文(表示スタイル) | 逆指値(表示スタイル) | 建玉(表示制御) | 建玉(表示スタイル)

⑩

売建玉  
線色: [青] ラベル背景色: [青]  
スタイル: [点線] 輪郭色: [青]  
太さ: [1] 文字色: [黒] フォント: [設定]

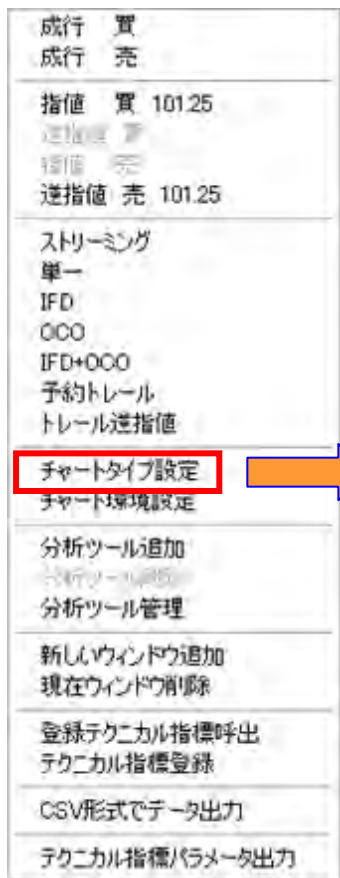
買建玉  
線色: [紫] ラベル背景色: [紫]  
スタイル: [点線] 輪郭色: [紫]  
太さ: [1] 文字色: [黒] フォント: [設定]

☐ デフォルト値として保存

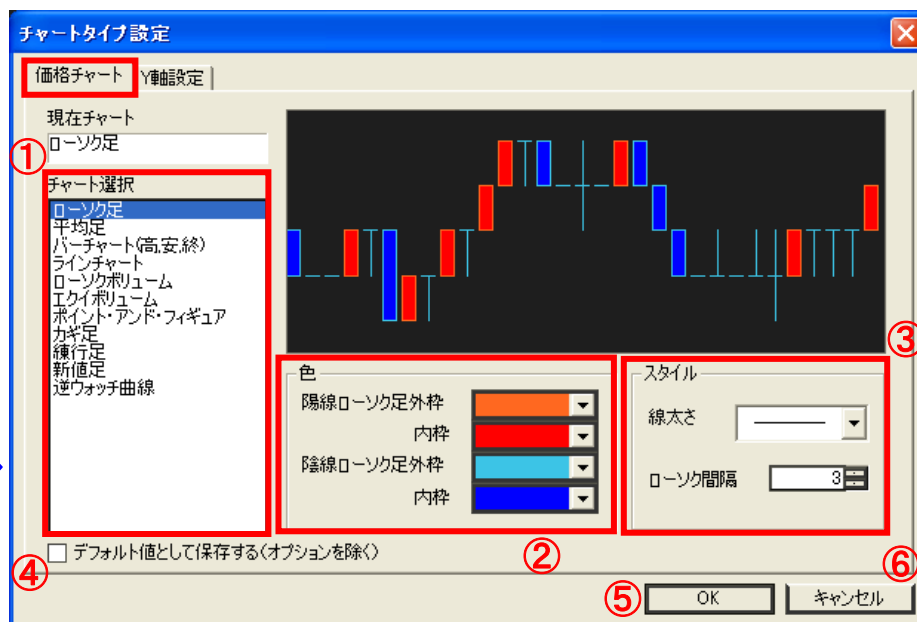
OK キャンセル

# チャートタイプ設定画面①

表示するチャートのタイプを設定する画面です。



チャート上で右クリックすると表示されるコンテキストメニュー



## ①チャート選択

・表示するチャートのタイプを選択します。(ツールボックス【チャートタイプ】と同様の機能)

## ② 色

・チャートの陽線及び陰線の色調を設定します。

## ③ スタイル

・チャートの線の太さやローソクの間隔を設定します。

## ④「デフォルト値として保存」チェック

・OKボタンをクリックした際に、設定した条件をチャートのデフォルト(初期状態)の設定とします。

## ⑤ OKボタン

・指定したチャートタイプでチャートを表示します。

## ⑥ キャンセルボタン

・設定を反映せずに画面を閉じます。



## チャートタイプ設定画面②

## ① 価格帯指定

・価格の最大値と最小値を設定します。

## ② 目盛幅指定

・目盛の幅を設定します。

## ③ OKボタン

・指定したチャートタイプでチャートを表示します。

## ④ キャンセルボタン

・設定を反映せずに画面を閉じます。

# チャート領域(表示例①)

## テクニカル指標を表示



## 複数銘柄を表示



## ラインスタディ(フィボナッチ・リトレースメント、イメージ)を表示



## 縦罫線、横罫線、終値を表示



## チャート領域(表示例②)

軸(右側Y軸、左側X軸、X軸)を表示



軸(右側X軸、左側X軸、Y軸)を非表示



複数チャートを表示(3分割表示)



## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

- 「ダイワ365FX」の取引手数料は、無料です。ただし、売気配と買気配には、差額であるスプレッドがあります。
- 「ダイワ365FX」を行なうには、証拠金をお預けいただく必要があります。必要となる証拠金の額は、当社が定める計算式によって算出されます。また、必要な証拠金は、通貨ペア（通貨の組合せ）やその通貨の価格によって変化しますので、本取引の額の証拠金の額に対する比率は、常に一定ではありません。
- 「ダイワ365FX」は、取引対象である通貨の価格変動により取引価格が変動します。また、取引対象である通貨の金利変動により金利差相当額（スワップポイント）が受取りから支払いに転じることもあります。通貨の需給の偏りにより、スワップポイントが金利差を反映せず、買い付けた通貨の対象国の金利が売り付けた通貨の対象国の金利よりも高い場合にもスワップポイントを支払うことになる場合があります。したがって、元本や利益を保証するものではなく、損失が発生することがあります。また、お客さまにお預けいただいた証拠金の額を上回る取引を行なうことができるため、証拠金を上回る額の損失を生じる恐れがあります。


## その他ご留意事項

- お取引に際しては、必ず「ダイワ365FX」の契約締結前交付書面、口座設定約諾書等、お客さま向け資料の内容をよくお読みください。

# 大和証券

Daiwa Securities

 お問い合わせは

 **0120-207337** (受付時間: 平日9:00~18:00)

F X 専 用 ダ イ ヤ ル

商 号 等: 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会